



TCKの おともだち

しゅつ 出エジプト 2章 10節

その子が大きくなったとき、女はその子をパロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけた。彼女は、「水の中から、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである。

世界中のあちこちでいろいろな民族が混ざって暮らす混合民族時代になりました。神様は私たちに多民族宣教という祝福を準備してくださっています。このとき、最初に覚えていなければならないことがTCK (third culture kids) つまり、第3文化圏の子どもたちです。彼らはいつも世界福音化の最初の走者でした。聖書のレムナントも、よく見てみると大部分はTCKです。ヨセフはエジプトに奴隷として売られたTCK、モーセは幼くして養子になったTCK、家を出たサムエル、人生の半分を逃げ回ったダビデも同じでした。捕虜になった人々、ローマの属国の時代に異端の濡れ衣を着せられて法的な制限を受けた初代教会も、TCKが起きて世界福音化を成し遂げました。

いろいろな国の人々が日本に入ってきて、私たちの周りにもたくさんTCKがいます。彼らは髪の色や皮膚の色、瞳の色が違いますが、世界福音化という旅程の中で、神様が私に送ってくださった友だちです。今日、まわりのTCKの友だちをよく見て、その友だちに福音を伝えることができるように祈りはじめましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私のまわりに送ってくださったTCKの友だちと、いっしょに世界福音化の夢を描くことができるように、出会いの祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。
アーメン



つぎ 次の () に入る世界福音化の主役、TCKの名前を見つけて書いて世界福音化の奥義を味わう祈りを始めましょう。

書いてみよう

そのとき、ミデヤン人の商人が通りかかった。

それで彼らは () を穴から引き上げ、

() を銀二十枚でイシュマエル人に売った。

イシュマエル人は () をエジプトへ連れて行った。

創世記37章28節のみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料





わたしたちは ひとつの みんぞく

使徒
1章 14節

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

同じ学校に通う友だちでも、それぞれ違う考えと心を持っています。それならば、他の国で暮らしている友だちは、もっと違うものを持っているかもしれません。しかし、覚えておくべき事実があります。この世界に生きるすべての人は、神様がご自身のかたちとして創造されたということです。これこそがそれぞれ目に見える姿は違っても、私たちはひとつの民族だといえる証拠です。

しかし、今、この地のすべての人は神様を知る知識をもたないので、偶像と宗教に陥っています。その上、神様を分からないようにさせる暗やみの文化の中にいます。それゆえ、どの国でも多くの人々が大きな霊的困難にあっています。

このとき、神様は私たちがレムナントとして呼んでくださいました。このような私たちに神様は、死んでいくこの人たちをただキリストによって生かさないで命じられました。神様は今、国家や人種に関係なく、この使命を受けた人々を集めておられます。彼らに会って霊的に疎通して、ひたすら世界福音化のために祈るために、出会いの祝福を求める祈りを始めましょう。



色をぬろう

私と同じ、ただキリストを語る使命を受けた友だちと出会うその日を期待して、絵を完成させましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。全世界の福音を持っている人々が集まって、世界福音化に挑戦するため、祈り始める答えを与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



たみんぞくふくいんか

マタイ
28章 20節

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

今、世界中の成功した人々が苦しんでいます。彼らの大部分は、わざわざいの中にいます。強大国によって続く戦争は人々に恐怖と混乱を与え、世界福音化をしなければならない教会は、完全に福音をなくしてしまいました。それゆえ、この地には、絶えず困難が訪れ、多くの人が苦しみの中でさまよっています。

このような時代に、神様が私たちに答えを与えてくださいました。すべての問題解決者であるイエス・キリストです。この答えをもって、すべての民族へ、万民に、地の果てまで行きなさいと命じられました。行って、証人を持った証人として福音を伝え、多くの人を弟子とせよと言われました。

いまは、その約束を握って、すでに日本に来ている多民族と、これから訪ねて行かなければならない多民族の前で証人として立つ答えを思い描いてみましょう。近くに来ている多民族福音化の祝福が私たちのことになるでしょう。



私のまわりにいる多民族の友だちを思い浮かべて、その友だちの国の国旗を描きましょう。そして、その国がどんな国なのかを調べて、友だちの国の文化を研究しましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。全世界が問題の中で、苦しんでさまよっているこのとき、証人になってすべての多民族を生かすことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing notes or preparing materials.



キリストの なかに とどまろう

ヨハネ
15章 4節

わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

ときどき、私たちは「これから何をしなければならぬのか」と悩みます。しかし、それよりもっと重要なのは、「私は今どこにいるのか」と質問することです。これは単純に私がいる場所のことを言っているのではありません。神様の奥義の中にいるかどうかを言っています。ここは霊的に勝利されたイエス・キリストの中です。ここにいれば、目に見えないのですが、とても大きな力を受けて味わうことができます。また、その中にいるなら、すべての契約が成就します。

私たちは十字架で死んでよみがえられたイエス・キリストを受け入れて、神の子どもになりました。神の子どもには、異なる身分と権威があります。毎日、この身分と権威を味わうなら、私たちが行く先々ですべてののろいとわざわいが崩れて、神の国の祝福が臨みます。今日からキリストの中にとどまることによって与えられる力で、私に与えられたすべてに、たとえそれがどんなに小さなことであっても挑戦しましょう。

信仰生活と学校生活、学業で勝利するレムナントになるでしょう。



神様、ありがとうございます。私に与えられたイエス・キリストの中で、すべてのことをしていく力を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



8月にはなにを読みましょうか



リディアのガーデニング

文＝サラ・シュワート／絵＝デイビッド・スモール 翻訳：福本友美子
出版：アスラン書房（日本語）

突然、知らないところに送られたらどうしますか。慣れないので、不安な気持ちになるでしょう。主人公のリディアも同じでした。家の事情で両親と離れて、遠くにいるおじさんの家に滞在することになったのです。まったく笑わないおじさんを見せようと、ディアは、おじさんのために秘密の計画をたてました。

美しい絵本『リディアのガーデニング』は、慣れない環境で新しい生活を始めた少女の話です。リディアが植えた種が花を咲かせて、いのちの力で現場を変えていく話は、私たちを通して現場を変化させようとされる神様の計画と似ていると言えるでしょう。私たちがイエス・キリストの中にいるとき、まことのいのちが与えられ、それによる力ですべての場所を変えるようになります。

いま、どんな環境にいますか。『リディアのガーデニング』を読みながら神様から今、私の送られた現場に対して与えられたメッセージを発見する祈りを始めましょう。私の小さな祈りを通して現場が生かされて、私のようにいのちを受けた友だちが日に日に増えていくことでしょう。



あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



うつわの じゅんぴ

使徒 9章 15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

私たちは今から器を準備しなければなりません。ほとんどの友だちは、未来の祝福を信じません。それゆえ、その祝福を入れる器を準備しないままです。しかし、神様は私たちに与えられる祝福をすでに準備しておられます。この事実を心から信じて、今日から準備を始めましょう。私たちはどんな器を準備しなければならないのでしょうか。

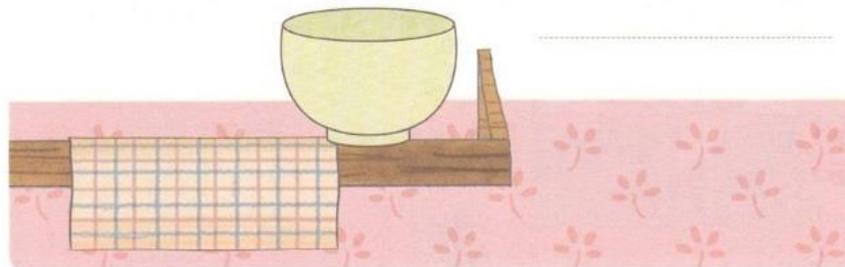
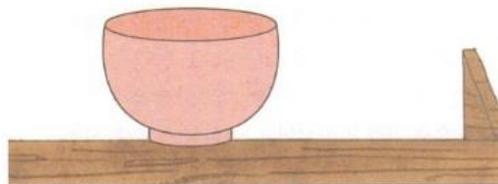
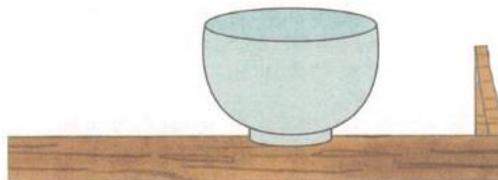
まず、みことばの器を準備しましょう。イエス様は終わりのときには迫害が起きるが、すべての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりが来ると言われました。ですから、恐れたり揺れたりする必要はありません。私に与えられたみことばを握って、すべての民族、万民に、地の果てまでみことばを持って行く準備をすれば良いのです。また、ミッションの器を準備しましょう。神様が私だけに与えてくださった使命があります。これを握って、他の人ができないことに挑戦しましょう。最後に、この働きを實踐に移すときに受ける力の器を準備しましょう。そのようなレムナントには、神様の力がともにあって、光の経済が与えられるでしょう。3つの約束を握って、私たちの器を準備しましょう。



みことばを
適用しよう

きょうから、祈りで3つの器を準備しましょう。
私だけの祈りの器を夢見て、どんな祈りからはじめるのか
生活に必要な祈り文を書きましょう。

いのちの
祈り文



きょうのみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぴ
しりょう
準備する資料



神様、ありがとうございます。必ず与えられる祝福を信じて、いまから器を準備して、世界福音化に用いられるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ただ ふくいん

ピリピ
3章9節

キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。

何かをはじめめる前に、まずしなければならないことがあります。それは、ただ福音でないことを捨てることです。これからしなければ、どんなにがんばっても、いつもサタンにだまされるようになります。福音でない律法や倫理、善行や努力では、サタンの策略に勝つことができないからです。

ですから、神様は福音ではないすべてを捨てた信仰の人々の話を聖書に記録して、私たちに伝えてくださいました。その中のひとり、信仰の先祖と呼ばれたアブラハムも、福音のために重要な決断をくだした人物です。神様はアブラハムに、カルデアのウルから出なさいと言われました。そして、わたしが示す地に行きなさいと言われました。その他にも、モーセ、サムエルとダビデ、ダニエルと三人の青年など、その時代の福音ではないことと戦った人物が、神様に用いられました。

今でもただ福音でないならば、神学や教理についてどれだけ学んだ教会であっても神様が願われる働きができない可能性があります。今日、このような時代に、私は福音のために何をして生きていくのかを確認して点検しましょう。



みことばを適用しよう

この世界に必要な福音が私たちに届きました。この福音の核心が書かれている聖句と、それに合う絵を線でつなぎましょう。私のすべての始まりが福音になるように祈りましょう。

創世記 1:3	●	
創世記 3:15	●	
創世記 6:14	●	
出エジプト記 3:18	●	
イザヤ 7:14	●	
マタイ 16:16	●	
ヨハネ 19:30	●	



どうのみことば



どうのいのり

神様、ありがとうございます。福音ではないことを捨てて、新しいはじまりをして、ただ福音だけを残す大人になるように助けてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



どうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料